

広報

# よろん



左 与論町長 山 元宗 右 国頭村長 知花 靖氏

## 特集

## 沖縄祖国復帰 50 周年記念～与論町・国頭村～

### 321 号のトピックス

- 年頭のご挨拶……………2
- 特集 沖縄祖国復帰 50 周年記念事業……………4～6
- 未来につなげよう、ヨロン!木育キャラバン…7
- 与論町に漂流した軽石問題について……………8～9
- 発達するってどういうこと?……………15

### ひとの動き

(令和3年12月末日現在)

■人口	5,150人
男	2,514人
女	2,636人
■世帯数	2,628世帯

## 年頭のご挨拶



与論町長 山 元宗



明けましておめでとうござい  
す。町民の皆様におかれましては、  
輝かしい新春を健やかに迎えのこ  
とと心からお喜び申し上げます。日  
頃から町政全般に対し、深いご理解  
と温かいご支援を賜り厚くお礼申し  
上げます。

さて、一昨年の発生以降、相次ぐ  
変異株の出現などにより世界各地  
で猛威をふるう新型コロナウイルス  
感染症は、本町においても集団感染  
を含め断続的に発生し、各種イベン  
トの中止や営業自粛など、町民生活  
全体に甚大な影響を及ぼし、現在  
もなお予断を許さない状況が続いて  
おります。

まだまだ完全なる終息が見えない  
中、厳しい状況が続いておりますが、  
医療従事者をはじめとした関係者の  
ご尽力により、昨年9月には希望者へ  
の全2回のワクチン接種を完了させる  
ことができ、また、本年2月には3回  
目のワクチン接種開始が見込まれるな  
ど、コロナ克服に向けて明るい兆しも  
見えております。

感染リスクと背中合わせの大変な緊  
張と疲労の中、島民の命を守るため、  
地域医療を守るため、最前線でご努  
力いただいている医療従事者や関係者  
の皆様に、心から敬意を表し感謝を  
申し上げます。町民の皆様におかれま  
しては、日頃より、新しい生活様式の  
実践やそれぞれの職場で感染症対策  
に取り組んでいただくなど、多大なる  
ご協力をいただいていることに、深く感  
謝を申し上げます。

また、昨年10月頃から漂着し、自  
然環境や地域産業活動に多大な影響  
を及ぼした軽石は、一時は島の生活  
基盤を脅かしかねない深刻な事態が  
危惧されましたが、民間事業者や関  
係機関、地域団体や多くのボランティア  
の皆様のご尽力により、このように  
素晴らしい年始を迎えることができま

した。しかし、現在もなお水産業や観  
光業をはじめ、景観や自然環境など、  
様々なところで影響が出ている状況で  
あり、引き続き国や県等とも連携を  
図りながら、各種取組を講じて参り  
たいと思います。

令和4年の干支である壬寅（みずの  
えとら）は、厳しい冬を乗り越え、春が  
到来し草木が芽吹くことを意味する  
とされており、我慢が求められる時期が続  
いておりますが、昨年、耐え忍びなが  
ら蒔いた希望の種が、新年を迎えて芽  
を出し、大きく花を咲かすものと確信  
しております。

与論町民憲章の理念となっている、  
「恵まれた美しい自然と「誠」の伝統に  
誇りを持ち、積極性と創造性を培い、  
島の永遠の発展を目指す」ことを再認  
識し、着実に物事を進めていくことも  
に、将来を展望し、町政の発展に努め  
てまいりたいと思っております。町民の皆様の  
より一層のご理解とご協力をお願い申  
し上げます。

令和四年 元旦

与論町長 山 元宗



# 2020 TOKYO 東京オリパラホストタウン事業

2021年夏。史上初の1年延期・無観客開催となったオリンピック・パラリンピックは、世界中に大きな感動を与えフィナーレを迎えました。

与論町では2019年にカリブ海のアンティグア・バーブーダ国のホストタウンに登録し、交流を重ね、大会後には選手団を町に出迎える予定でしたが、コロナ禍により実現できませんでした。そこで可能な形での交流として2021年9月30日に、与論町からは代表で茶花小学校6年生の皆さんと同じカリブ地域にホストタウン国を持つ奄美群島の4町（天城町、徳之島町、和泊町、知名町）と合同で5町×5カ国のオンラインでの交流を行いました。アンティグア・バーブーダの皆さんからは「今後もこのご縁を大切に、交流を続けていきたい」という声を多くいただくことができました。

## 質問タイム

Q：アンティグアの郷土料理で有名なものをおススメは何ですか？

A：フンジーというトウモロコシや小麦粉を練って焼いたもの。シチューなどと併せて食べる。

Q：どんな行事がありますか？

A：8月に一週間かけてカーニバルがある、11月には独立記念日が盛大にある。



集合記念撮影★



### 【町岡教育長の挨拶】

今回のこの交流をきっかけに子供たちが次の世代を担い、これからもアンティグア・バーブーダの皆さんと交流を続けていけるよう、そしてお互いが協力しあって世界が平和で人類が仲良く住み良い地球環境を作っていけるよう祈っています。



9月15日「ホストタウン相手国・地域の国民食コラボメニュー実食会」として、結婚式で有名な東京の八芳園さん監修のもと、カリブ地域のメジャーな郷土料理を与論バージョンにアレンジし給食にて提供しました。「シチューチキンがとても美味しかった！」という子供達の声が多く聞かれました。

◆メニュー・シチューチキン、カラルースープ、カリブ風サラダ

北緯 27 度線で分断されても変わらない、

2022年4月28日、沖縄県の日本復帰 50周年を記念した交流イベントが本町と沖縄県・国頭村にて行われます。

琉球王国時代から続いているとされる、与論と沖縄の交流の歴史。紡いできた歴史の中には、時に辛い思い出もありました。

古くから、与論からは主に家畜を、国頭村からは木材や建材をそれぞれ物々交換する交易が行われていました。

第二次世界大戦後の1945年9月、与論を含む奄美群島と沖縄県は日本から切り離され米軍統治化へ。

終戦後の大変な状況下で本土等との交易も絶たれ、お互いに貧困や食糧難に苦しみながら、祖国復帰を願い続けました。

1952年4月28日にサンフランシスコ平和条約が発効され、1953年12月に奄美群島が祖国復帰となりましたが、沖縄を含む南西諸島については返還されず、与論と沖縄・国頭村の間にある北緯 27 度線が「国境」となりました。

山元宗与論町長は、子供のころから沖縄は「親の島」だと聞かされて育ったと言います。

南政吾前与論町長も、「現在の与論町があるのは国頭村のおかげ」だと10年前の新聞社のインタビューに答えています。

理由としては、一つ目に、琉球国北山王の三男である王舅が与論に築城したこと、

二つ目は、与論町には森林がないため、国頭村をはじめとした「やんばる」からの木

## 絆、これからも

### ～沖縄祖国復帰50周年記念 国頭村・与論町共同事業～

与論町と国頭村の「親子」の絆

材によって住居などの建物が建てられていたこと等があげられます。

すぐ隣に見えるのに、見えない「国境」で

「親の島」は分断されてしまったのです。

当たり前に行ってきた交易が法に反する

「密貿易」になり、定期船の中にさえ「国境」

が存在し、パスポートが必要となってしまいました。

この事は当時の与論町民にとっても受け

入れがたい事であり、沖縄の祖国復帰は切

る願いとなりました。

奄美群島が復帰してから8年後の196

0年に沖縄で祖国復帰協議会が発足。

3年後から国境となった北緯 27 度線にて

海上集会が1969年まで毎年開催されま

した。

時には時化で揺れる船上でも、互いに身を

乗り出し固い握手を交わし、「沖縄を返せ」

を大合唱したといえます。

平和を願い、これからの友好発展へ

そして来年、「親の島」が祖国に帰ってき

たことを喜び合い、互いにさらに絆を深め合

いたいという思いから、両町村共同で「沖縄

祖国復帰50周年記念事業」が行われます。

「記念式典」の他に、「記念行進」や「か

がり火」の実施、両町村の児童が互いの地

を訪ねる「ふれあい交流」の実施等が予定さ

れています。

絆を象徴するともいえる「海上集会の再

現」では、互いの友好・平和の宣誓が予定さ

れています。

加藤：節目となる50周年事業は、多数の団体から注

目されていることから、この機会に国頭・与論との

歴史的なつながりを発信し両町村の PR を図ると

ともに、両町村の10代～30代の若い世代へ、先人た

ちの熱い思いを伝えていきたいと感じています。

今後は、児童交流を始めとして各分野同士の交流が

できるよう取組可能な事から進めていきたいです。

渡慶次：今回の事業の共同開催を通じ、両町村の昔からの交流を再認識する事と、幅広い分野での交流の可能性がある事を周知することで、今後も更なる交流の可能性が期待できると感じています。実際に与論町に住み町民の皆様と交流する中で、その親しみやすさから地元を離れていない感覚もあります。

### Q3. 今回の意気込みや、今後の交流への思いを教えてください!

加藤：節目となる50周年事業は、多数の団体から注目されていることから、この機会に国頭・与論との歴史的なつながりを発信し両町村の PR を図るとともに、両町村の10代～30代の若い世代へ、先人たちの熱い思いを伝えていきたいと感じています。今後は、児童交流を始めとして各分野同士の交流ができるよう取組可能な事から進めていきたいです。

## 与論と国頭村の交流の歴史

＼人事交流職員に聞きました／  
お互いから見た  
リアルな国頭村・与論町



とけし  
左:渡慶次 勇樹さん

(国頭村役場⇒与論町役場・商工観光課)

右:加藤 翔さん

(与論町役場⇒国頭村役場・企画商工観光課)

### Q1.「自分の地元と似ているなあ」と感じた事がありますか？

加藤：人が温かい、自然が豊か、冬の時期は海風が強いこと。また、ピースと似ている「ハキシブイ（カキシブイ）」という料理がある。作り方は同じだが酢味噌で味付けするという違いも。

渡慶次：先輩後輩の仲の良さなど人と人の繋がりや近さや飲食店で食べられるチャンプルーなどの郷土料理。方言も似たものがある。例えばシイラは国頭では「マンビカー」与論では「マンビキ」、ハリセンボンは国頭で「アバサー」与論では「アバシ」など。  
あとは、与論にも魔よけの石碑である「石敢當」が数基あること。

琉球王国  
三山鼎立時代

・14世紀、琉球王国北山王により与論・沖永良部までが管理される。

明治時代

・明治13年、与論～国頭・間切間で郵便の往復が開始。  
・明治中期以降、国頭からは林産物、建材や染料となる藍玉、与論からは牛馬・山羊・豚で盛んに交易が行われた。

昭和時代

・昭和20年、奄美群島と沖縄諸島がアメリカ政府の統治下におかれる。  
・昭和27年4月28日サンフランシスコ平和条約発効、翌28年奄美群島が日本に復帰。  
・昭和38年、沖縄祖国復帰要求運動にて両町村でのかがり火大会や、北緯27度線上での海上デモが行われる。  
・昭和47年5月15日、沖縄県が日本に復帰。  
・昭和52年、国頭村・奥港－与論港の航路開設（臨時運行）  
・昭和58年、北緯27度線ウインドサーフィン横断レース開催（辺戸岬－与論）

平成時代

・平成4年、沖縄祖国復帰20周年記念事業開催。  
・平成13年、交流・友好のシンボル「かりゆし像」を辺戸岬に、「ヤンバルクイナの像」を与論城跡に設置。  
・平成14年、30周年記念事業、24年に40周年記念事業共同開催。国頭村より大型の「ヤンバルクイナの像」を授受し、翔竜橋の高台に設置。

令和時代

・令和2年、与論町役場・国頭村役場職員の人事交流実施（派遣）  
・令和3年、SUPによるO2Y外洋縦断レース開催。（国頭村－与論）  
・令和4年、沖縄祖国復帰50周年記念事業開催予定。

### Q2.驚いた事や面白いと感じた事は？

加藤：廃鶏を食べる食文化に驚いた。BBQで食べる事が多く「ハイケイやろう！」=BBQやろうという意味で使われている。

渡慶次：琉球文化圏である事は知っていたが、沖縄県人より琉球方言（国頭方言）を使う人が多いこと。海浜地の美しさにも感動。

## 予定されているプログラム

### 海上集会

与論町と国頭村の間にある北緯 27 度線上で「沖縄返還要求運動海上集会」の再現を実施。YouTube で中継予定なのでぜひご覧下さい！

### 記念行進

沖縄において当時、返還要求運動として毎年行われたとされる行進を本町で実施します。与論中学校から与論城跡までを行進する予定です。

### かがり火

安全面に確り配慮し、辺戸岬からも望めるかがり火をたきます。使用される木材は、「やんばる」の木材を予定しています。講演も実施予定です。

### 記念式典

当日に記念式典を実施。県知事や県議会議員、国頭村長を来賓にお招きする他、本町出身のアーティストによる記念ライブも予定しています。

### 児童交流

両町村の「ふれあい児童交流団」を派遣・受入します。国頭村の子どもたちに、百合が浜やマリンレジャーの体験をして頂く予定です。

### 上記の他にも実施予定

### 写真展示の開催

サザンクロスセンター 2 階にて 2022 年 3 月から 8 月までの期間中「沖縄祖国復帰 50 周年記念写真展」を開催します。

### 記念誌の発刊

イベント終了後、各プログラムについてや交流の歴史、インタビューや 50 周年以前の記念イベントの様子などをまとめた記念誌を発刊します。



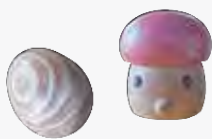
握手の代わりにグータッチを  
交わす両町村長

沖縄祖国復帰 50 周年記念事業と与論町推進委員会では、与論町商工会会長の田畑克夫氏が委員長を務め、議会・役場・観光協会・漁協・農協・ヨロン SSC 等、官民が一体となり、町全体で準備を進めています。

50 周年という両町村にとっての交流の大きな節目。未曾有の感染症の拡大で、人と人とのコミュニケーションの形も変わりつつある昨今。

当時のことを知る人の数は次第に減っていきませんが、当時から紡いできた歴史・想い・絆は消えることはありません。

生まれた時から与論に暮らす方も、島外から移り住んできた方も、ぜひこの機会に、これまでの与論町と国頭村の歴史を振り返り、これからの「絆」について考えてみませんか？



## 沖縄北部・国頭村の木のおもちゃを体験！ 木育キャラバン in ヨロン



リュウキュウマツを卵型にして敷き詰めた「ヤンバルクイナのたまごプール」や、カエルの積み木、歩くどんぐり・・・温かみのある国頭村の木のおもちゃを与論島の子供たちにも体験して欲しい！そんな思いから昨年7月、与論町と国頭村の連携事業の一環で“木育キャラバン in ヨロン”を実施、各こども園で国頭村の木製おもちゃを体験してもらいました！

### 木育（もくいく）とは？

「木育」は木の良さを知り、暮らしの中に木を取り戻していく活動です。木製おもちゃの体験のほか木工ワークショップなど全国各地で様々な取り組みが行われています。広大な森林を有する国頭村では、地域資源となっている森林を活用した木製おもちゃを通じて子どもたちの豊かな感性を育む木育活動を行っています。

### 感性を磨く木のおもちゃ

体験した与論の子供たちは「いい匂い！」「たまごプールに寝転んだら気持ちよかった！」「もつと長く遊びたい！」と、大喜び。特に大人気だった「ヤンバルクイナのたまごプール」では、たまご一つ一つの木目や色、大きさの違いを観察する楽しみもあつたようです。そんな所も、すべてが同じ形になってしまいうプラスチック製品との大きな違いです。木の香りでの癒し効果、視覚、触覚・・・木のおもちゃは五感に働きかけ、感性豊かな心の発達を促してくれます。



### 木育とSDGs

木育の活動はSDGs 目標15のテーマ（持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営など）にも通じています。元気な森を維持するためには切るべき木がきちんと切られなくてはなりません。木製品を使うことで林業を応援する事になり、それが森林を守ることに繋がります。木は二酸化炭素を吸収して酸素をつくり出すため、森林を守るとは地球温暖化を防ぐ、地球を守ることへと繋がっていきます。また、木は手がかけることで持続的に使い続けられる大切な資源でもあります。

木を知り、木を使い、森を守り、地球を守る。木育は環境に良い循環を作るはじめの一步とも言えます。

### 与論島と国頭村

はるか昔から交流のあつた与論島と国頭村。国頭の木材と与論の家畜を交換し、その木材で家を建てたというエピソードからは国頭の木が与論にとって大切な資源だった事が伺えます。また沖縄の復帰運動では与論からも声援を送り励まし合うなど、交流の歴史を振り返るとお互いに助け合い生きていた先人たちの姿が浮かび上がります。

木育で子供の豊かな心を育むとともに、今後も様々な交流事業を通じて、互いに助け合う心を繋いでいけたら素敵ですね。

文／小高明日香（ヨロン島観光協会）

子供たちに一番人気！リュウキュウマツで作られた「ヤンバルクイナのたまごプール」



## 与論町に漂流した軽石問題について



2021年10月。

8月に小笠原諸島で噴火した海底火山「福徳岡ノ場」から流れ着いた大量の軽石により、与論町の砂浜・海岸は大きく姿を変えました。

### 漂着当初

2021年8月に発生した海底火山「福徳岡ノ場」の噴火に由来するとみられる軽石が、10月中旬から本町内の海岸各所にて確認されるようになりまし。下旬には島の全周に流れ着き、漁船やジェットスキーの操業が出来ないなど町内の様々な事業者へ大きな影響がありました。

町全体へ電気を供給する発電所用の重油を運ぶタンカーが接岸できない状況であることが報じられ、町全体が不安に覆われる事態となりました。

### 数カ月経過して

軽石が漂着し始めてすぐ、本町のエコツアーガイドの方々やサーフィン連盟会長による呼びかけで、住民や役場職員による軽石回収のボランティアが行われました。

住民の不安の種となっていたインフラ施設(発電所等)への燃料供給については、国土交通省九州地方整備局及び鹿児島県や港湾協会、建設業協会員の協力のもと、給油タンカー接岸のための海中フェンスを設置するなど様々な対策がとられ、無事に補給され、与論町民の生活の安定が保たれました。

また、海岸では住民の方や町内の様々な事業所の方、観光客の方、軽石回収ボランティアを目的として来島する団体など、町内外問わずたくさんの方が現在も回収のボランティアを続けて下さっています。

しかしながら、海面を浮遊する軽石の影響で漁船が今までのように出港できないなど、深刻な影響は続いています。





# ミッシーク、トートウガナシ!

(本当にありがとうございました)

今日まで港湾・海岸の軽石除去作業や軽石回収ボランティアにご協力頂いた方々、与論を思いご心配の声や軽石活用方法についてのご提案をお寄せくださった方々へ、この場を借りて心より御礼申し上げます。

## 国土交通省九州地方整備局・鹿児島県の技術支援による港湾の軽石除去作業の様子



①壁全面にシルトプロテクターを設置しタンカー入港後、展張



②陸上より水中ポンプを設置し水中の軽石を除去



③無事に接岸することができ、燃料供給ができました。

## 港湾や海岸の軽石回収ボランティアの様子



2021年11月28日(日)、砂美地来館にて「軽石フェスティバル」が開催されました。

当日は350人を超える観客が訪れ、軽石に関する現状報告を聞いた後は、町内で活動する団体・アーティストや学生によるライブや舞台を楽しみました。

### 「軽石フェスティバル」

～流れ着く軽石に与論島の未来を想う会～



#### \*軽石回収に関する事例発表・活動報告

- 国交省九州地方整備局
- 海謝美
- 与論町
- 漁協青年部
- 池田龍介さん
- 各海岸代表・建友会

#### \*ライブ・パフォーマンス

- 与論高校生
- わらびんちゃー
- THE YELLOW WITNESS
- LAST CHILDREN
- 川畑アキラバンド
- キャッチ・アンド・リリース
- ホオボノ・ユヌ・アロハ

## 大島地区

### 日本復帰記念駅伝大会

令和3年12月5日には、令和3年度第62回日本復帰記念大島地区駅伝競走大会が開催されました。

男子は約33キロ、女子は約16キロのコースで、ともに5区間タスキをつなぎました。

オープン参加も合わせ、中学生・高校生・一般の5人の選手で構成された男子11チームと女子9チームの参加となりました。

与論町の結果は下記のとおりです。



## 与論町

### 祖国復帰記念駅伝大会

令和3年11月7日、令和3年度祖国復帰記念第39回与論町駅伝競走大会が開催されました。

小学生から50代までの男女混合で、1チーム14人で構成され、幅広い世代の選手が全長約23キロのコースを駆け抜けました。

大会当日は晴天に恵まれ、多くの町民が沿道から選手たちへエールを送りました。

大会の結果は下記のとおりです。



女子チーム順位	男子チーム順位
7 与論町 A (1時間 15分 59秒)	4 与論町 A (1時間 58分 11秒)
9 与論町 B (オープン参加) (1時間 22分 00秒)	11 与論町 B (オープン参加) (2時間 11分 36秒)

チーム順位	
1	那間 (1時間 25分 40秒)
2	与論
3	あがさ
4	茶花

### 全国社会を明るくする運動強化月間



～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

あなたのまなざしで、再出発を見守る社会へ

令和3年7月1日、第71回全国社会を明るくする運動強化月間にあたり、内閣総理大臣及び県知事からのメッセージが本町の保護司4名代読のもと、町長室にて山町長へ伝達されました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的として法務省が主催する全国的な運動です。

ますます住みよい与論町の町づくりを目指して、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(保護司4名▼写真左から大田英勝さん・町政枝さん・川畑義谷さん・富士川浩康さん)

### 与論空港ハイジャック対応訓練



令和3年12月15日、与論空港において、与論空港管理事務所主催によるハイジャック対応訓練が実施されました。

訓練は、ハイジャックされた機体への給油を求め与論空港へ着陸するも管制塔とのやりとりが難航したことに犯人が激昂し、爆発物を爆発させ、犯人及び乗客がけがをするという想定で行われました。

警察・消防・空港職員等関係各機関も参加し、お互いの連携強化を図りました。

## 令和3年度社会教育功労者表彰受賞



令和3年11月24日、令和3年度大島地区社会教育功労者表彰を受賞した、茶花の高田りえ子氏に、町岡教育長より表彰状の伝達を行いました。

大島地区において、社会教育活動を推進するため、多年にわたり社会教育の振興に功労のあった方の功績を讃える表彰です。

高田氏は平成23年より10年の長きにわたり、本町の地域女性団体連絡協議会会長を務められました。

女性の地域活動の推進や、高齢者独居老人の見守り、地域の防犯・交通安全運動の推進等、地域社会づくりに大きく貢献されてきた功績が認められた受賞となりました。

## 環境保全活動優秀団体等表彰受賞



令和3年12月1日、「2021年度環境保全活動優秀団体等表彰」を受賞した、本町のボランティアグループ「海謝美」の皆さんが、報告のため町長を表敬訪問されました。

県は、地域で環境保全に向けた具体的な活動を行っており、その活動が特に優れて他の模範となるなど顕著な功績のあった団体等を毎年表彰しています。

海謝美は、悪天候の日を除き、ほぼ毎朝有志10人ほどが集まり、時には観光客等も参加しながら、島内中の海岸約60カ所を巡回し清掃活動を行っています。

今年度は県内5団体が受賞され、海謝美は奄美で唯一の受賞となりました。

## 子供と家族・若者応援団表彰受賞

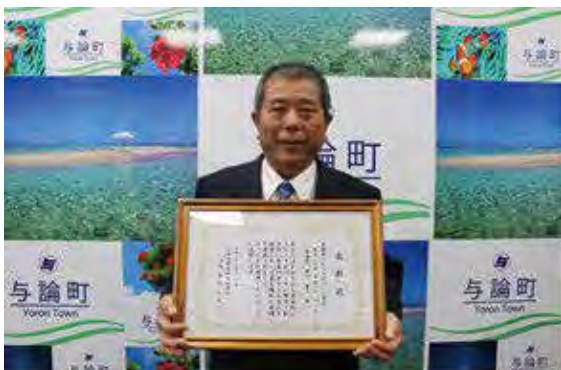


令和3年12月20日、「2021年度子供と家族・若者応援団表彰」の子育て・家族支援部門の内閣総理大臣表彰を受賞した、本町のNPO法人「よろん出産子育て応援隊あんまあらず」の内野正世理事長が、報告のため町長を表敬訪問されました。

内閣府は、子供・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動において、顕著な功績があった団体や個人を表彰しています。

「生まれるのちは全国どこでも平等であってほしい」という観点から、「沖縄県の出産待機施設運営」を始めとした離島特有の諸問題に寄り添った活動が評価され、県内の団体で初めての受賞となりました。

## 奄美群島さとうきびづくり株出しの部最優秀受賞



令和3年12月20日、奄美群島糖業振興会が実施する令和3年度（23年産）さとうきびづくり優秀農家表彰事業において、株出しの部で最優秀を受賞した、茶花の野口賢志氏に、山町長より表彰状の伝達を行いました。

野口氏は株出しの収穫面積が106aに対し10aあたりの収穫量が10、825kgと高単収を記録し奄美群島内で1位となり、2位以下と1、000kg以上の差をつけての受賞となりました。

毎年高単収を記録している野口さんは「水をたっぷりかけることが高単収に繋がったと思う。この受賞を励みに今後もしさとうきびづくりに精進していきたい。」と意気込みを話されました。

## 令和3年度防災訓練

令和3年度全国秋季火災予防運動に伴い令和3年11月26日に製糖工場ヤードにて与論分遣所・与論町消防団主催に茶花自主防災会も協賛して、防災訓練が実施されました。

与論分遣所及び与論町消防団が水害対策の一環として、土嚢積みやチェーンソーを使用しての木材切断、また初期消火に伴う消火器取り扱いのレクチャーを行い、茶花集落民のみならず、地域事業者も積極的に参加されました。



## 陸上自衛隊第15旅団 海難救助訓練

令和3年11月29日、12月2日に陸上自衛隊 第15旅団(沖繩)による海難救助訓練が行われました。

前団後団総勢67名の自衛隊員が自衛隊ヘリでコースタルリゾートから海難救助を行い、総合グランドへ搬送する訓練を行いました。

園児や生徒が見学し、自衛隊員とふれあい、普段見ることのできない自衛隊ヘリでのホイスト訓練を見学することができ、皆さん「がんばれ」と大きな声援を送っていました。



## 令和4年 与論町消防出初式



令和4年1月6日、役場前駐車場において、消防出初式が開催され、消防団や消防分遣所職員が集まり無火災・無災害を祈念し、消防職団員の職責に対する心構えを新たにしました。

式典では、人員報告、団員及び消防機材の観閲の後、前消防団長 富田修平氏に感謝状の贈呈及び消防団9名に永年勤続の表彰状授与を行いました。富田氏は約40年にわたり本町消防団活動にご尽力されました。

式典の最後には消防の心構えや心意気を示す「与論町消防団行進曲」を団員全員で歌い上げ、一致団結した姿を披露し、会場からは手拍子が沸き起こりました。



## 与論町出身 有村祐亮さん 箱根駅伝出場



記録 | 時間 10分 27秒 (23.0km)

令和4年1月2日・3日に開催された「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」に本町茶花出身の有村祐亮さん(神奈川県立3年)が出場しました。

有村さんは、第10区アンカーとして出走し、総合順位は12位と惜しくも次回大会へのシード権は逃しましたが、個人記録では区間9位という素晴らしい走りを見せ、与論町民に元氣と感動を与えてくれました。

これからのご活躍を町民一同応援しております。

有村さんに聞きました!



Q1 箱根駅伝を走ってみての感想をお聞かせください。

走りはじめは楽しかったけど、後半はひたすらきつかったです。

Q2 いつもどれくらい練習していますか?

日によって違いますが、1日30km前後走ります。

Q3 今年の抱負をお聞かせください。

出場する大会で結果を残したいです。

Q4 町民へのメッセージをお願いします。

いつも応援やサポートありがとうございます。

また走っている姿をテレビで見せられるよう頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします!

## 令和3年度一般コミュニティ助成事業

東区自治公民館は、令和3年度一般コミュニティ助成事業により、下記の備品を宝くじの助成金で整備しました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業です。(総務企画課)

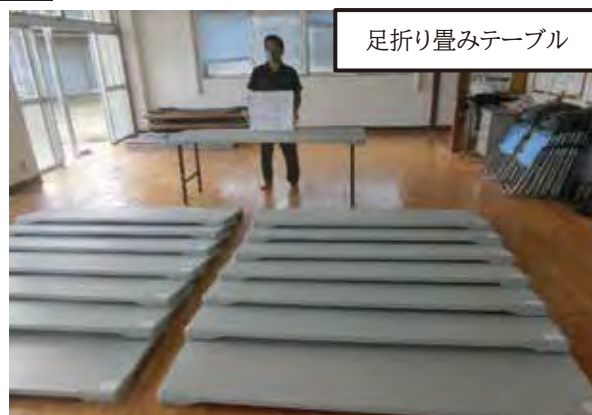


●東区集落 総事業費 2,637,240円 助成金額 2,500,000円

備品名	数量	備品名	数量
天井吊り型エアコン	3	ミキサーケース	1
コインタイマー	1	スピーカーケーブル	2
足折り畳みテーブル	15	スピーカー	2
折りたたみイス	30	スピーカースタンド	2
プロジェクター	1	ワイヤレスマイク	1
スクリーン	1	キャンホンケーブル	2
ポインター	1	CDプレイヤー	1
パワードミキサー	1		



天井吊り型エアコン



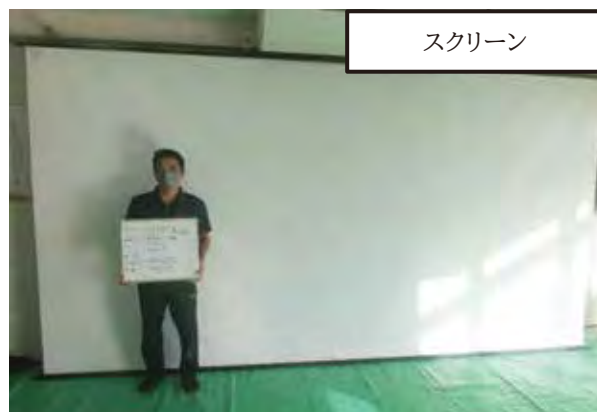
足折り畳みテーブル



折りたたみイス



プロジェクター



スクリーン



パワードミキサー

# 発達するってどういうこと？



多くの人は「できなかったことができるようになること」が発達だと思ふことでしょうか。しかし、人間が育っていく過程では「できていたことができなくなる」ということが、実はたくさんあります。

離乳食の時には食べていた食材なのに1歳半前後で食べられなくなる子どももいます。母親は「私のしつけが悪いのでは」「私の育て方が悪いのでは」と不安になります。でも母親の接し方や味付けが急に変わるわけではないので、子どもの側の問題ということになります。

子どもは1歳代でとても賢くなります。犬も猫も「ワンワン」と言っていた子が、犬は「ワンワン」、猫は「ニャーニャー」と区別するようになります。大きさや毛並みもあまり変わらない現在の犬と猫。子どもは何を手がかりにして区別しているのでしょうか。考えたらすごいことです。世界の細かい「違い」に気づき始めた子どもは、世界の中から「コレ」と思ったものを選ぶようになり、あそびやおもちゃも、そして食べる物にも「好き嫌い」ができていってきます。そうしてみると、「食べたがらない」ということも、「賢さ」と「選ぶ力」の賜物ということになります。

また、3歳まではトイレのスリッパを揃えていた子が、4歳を過ぎると揃えないどころか、脱ぎ散らすようになったりします。だらしなくなったの？「厳しく叱らねば」と思う人もいるでしょう。3歳までは、大好きな大人のしたことを自らマネして「できるようになること」「できたことをほめてもらうこと」に子どもは意味を感じています。

4歳を過ぎてくると、大好きな大人以上に仲間のことが気になります。仲間が園庭で遊んでいるとわかれば、心は園庭に飛び、スリッパは後ろにはねのけられることになります。「仲間よりスリッパが大事」という4歳児はかえって心配になります。「仲間が気になる」という子どもの心を踏まえると、「次に使うお友達のためにスリッパを揃えてね」と指導することになりますが、すぐには揃えるようにはなりません。仲間が園庭で遊んでいるのですから。目の前にいない仲間のことが心に位置づいて初めて、スリッパを揃えられるようになるのです。このように人間は、単純に「できなかったことができるようになる」存在ではなく、自分が意味を感じたことに主体的になる存在です。新たな意味の世界に入り、今までの世界に意味を感じなくなれば、今までしていたことをしなくなり、その結果できなくなることもある存在なのです。

私たちの人生は、自分らしさを開花させようとして、自分が意味を感じたことに向けて主体的に自分を変えていく過程です。だから「人間は一生発達する」と言われるのです。できなくなることも含みつつ「自分らしさ」を求め続ける過程なので、「到達した」と思ってもまた新たな自分を求めていくことになります。

出典：近藤直子『子どものかわいさに出会う』

## 発達の大きな流れ

- 1 大人を大好きになる乳児期
- 2 大好きな大人のしていることを取り入れて、自分のしたいことを築いていく幼児期前半
- 3 自分を中心に世界を見直し、仲間の中で新たなチャレンジをする幼児期後半
- 4 価値の世界に入っていく学童期前半
- 5 考える力をつけ、大人と一線を画し始める学童期後半
- 6 自分の価値を模索する青年期
- 7 「役割」を取得し役割を生きる成人期
- 8 人生の終え方を模索する高齢期



## 「与論町児童発達支援センターほのぼの」概要

設置日：令和3年4月1日  
 所在地：与論町那間 3348-1  
 電話：0997-97-4668  
 設置者：与論町長  
 定員：16名  
 利用者：障害のある児童又はその可能性のある児童で、通所受給者証の交付を受けた者  
 開所日：火～土曜日（月曜日休み）  
 開所時間：8:30～18:15  
 活動時間  
 火～金曜日：9:30～17:30  
 土曜日、夏休み等：9:30～16:00  
 職員数：9名

### 事業の種類と支援内容

- ① 児童発達支援  
 本人支援：利用児が将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう支援します。  
 家族支援：家族に対して、利用児の「育ち」や「暮らし」を安定させることを基本に置いて丁寧な支援を行います。  
 地域支援：利用児の地域社会への参加・包容を推進するため関係機関との連携を進め、地域の子育て環境や支援体制の構築が図られるよう支援します。
- ② 放課後等デイサービス  
 放課後や夏休み等に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行います。また、共生社会の実現に向けた後方支援や保護者からの子育ての悩み等に対する相談を行います。
- ③ 保育所等訪問支援  
 認定こども園又は小学校を訪問し、利用児の集団生活への適応のための専門的な支援、その他必要な支援を行います。

## むし歯ゼロでした

(5歳児歯科検診R3.9.17)

- ◆猪目 藍花(あいか)さん
- ◆堀切 愛叶(まなと)さん
- ◆内野 佳二郎(けいじろう)さん
- ◆町本 つくしさん
- ◆玄 しおりさん
- ◆南 大地(だいち)さん
- ◆田島 愛梨(あいら)さん
- ◆本園 愛佳(あいか)さん
- ◆富永 灯(あかり)さん
- ◆本畑 瑠香(るか)さん
- ◆西田 和広(かずひろ)さん
- ◆森保 己梗(ききょう)さん
- ◆藤川 拓実(たくみ)さん

(50音順)

目指せ！  
**8020!**



第11回

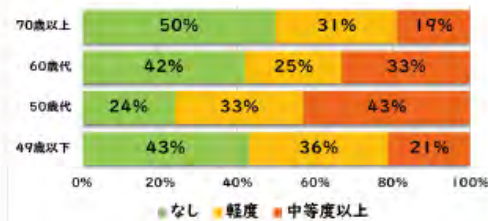
保健センターだより

## 歯周病検診結果から(令和3年11月 厚生連健診と同時期実施)

①一人平均現在歯数



②歯石の付着状態



上のグラフは昨年11月に厚生連健診会場で実施した歯周病検診(138名)の結果です。

①のグラフをみると49歳以下では28本揃っている(親知らずまで全部はえた状態が32本)状態ですが、70歳以上になると21.4本と年齢を重ねるにつれ、歯が抜けてしまっていることがわかります。

そして②のグラフでは、半数以上の方が歯石が付着した状態であることがわかりました。

できてしまった歯石は自分で取ることはできません。歯科医院を定期的に受診して、ゼブプロのメンテナンスを受けましょう！歯が抜けてしまった方も歯科医院を受診して適切な入れ歯等を利用することでしっかり噛めるようになりますよ。

80歳で20本以上自分の歯を保っていると生涯にわたって自分の歯でおいしく食べることができます。健康でいきいきと過ごせるように、毎日しっかりとセルフケアに努めましょう！

## 透析になる前に！

知っていますか？

**CKD(慢性腎臓病)**



### CKDとは？

CKDとは、腎臓の働きが健康な人の60%未満に低下するか、あるいは、タンパク尿が出るといった腎臓の異常が3カ月以上続く状態をいいます。悪化すると人工透析が必要となる場合があります。また、**心筋梗塞**や**脳卒中**などの生命に関わる病気の危険因子にもなります！

**減塩をしましょう！**

目指せ！  
一日食塩量摂取量8g未満  
塩分を取り過ぎると、血圧が上昇し、腎臓に過剰な負担をかけてしまうことになります。

【減塩ポイント】

- みそ汁は具だけ飲んで！
- しょう油はかけるよりつける習慣を
- めん類のスープは飲まずに食べよう
- 酸味(レモン・酢・すだち)を上手に利用しましょう！

ひかえめに

**規則正しい生活をしましょう！**

ストレスは、血圧のコントロールや自律神経に影響を及ぼします。過労を避け、十分な睡眠をとるよう心がけましょう。

**禁煙しましょう！**

たばこを吸うと、血管が収縮して血液の流れを悪くし、血圧が上昇します。たばこの本数が増えれば増えるほど腎臓障害は進行しやすくなります。

**CKD予防は生活習慣の改善から始めましょう！**

**バランスの良い食事を！**

穀類を工夫して多くの野菜を加えよう！

**健診を必ず受けましょう！**

CKDは尿と血液の検査で簡単に診断ができます！尿検査では尿中たんぱく質の値が重要です！

**適度な運動をしましょう！**

ウォーキングなどの有酸素運動を1日30分以上行いましょう！

☆あなたや家族の大切な体と明るい未来を守るため、定期的に健診を受けましょう  
鹿児島県健康増進課 <http://www.pref.kagoshima.jp/ae06/ckd.html>

お問合せ先

与論町保健センター TEL: 97-5105 FAX: 97-5110



## 持続可能な観光地づくりにむけて (商工観光課)

かつてバブル的な観光ブームと観光客の減少を経験した与論島。コロナ禍で観光分野でも大きな転換期を迎える今、一過性の観光ブームではなく、島の自然・歴史・暮らしを守りながら持続的な観光振興につなげる取り組みを進めようとしています。

### 【持続可能な観光をめぐる情勢】

国内外の観光地で、過剰な観光発展により、地域の環境や生活に悪影響が及ぶ「オーバートーリズム」が問題となっています。例えば、リゾート開発による自然破壊やごみ問題、渋滞や住宅・地価の高騰などがあげられます。

その一方、観光による地域への負荷を減らした「持続的な観光」に向けた動きも進んでいます。国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」に基づき、世界持続可能観光協議会が定めた持続可能な観光の国際基準 Global Sustainable Tourism Criteria (GSTC「GSTC」)は、欧米を中心に活用や実践が進んでいます。わが国でも、2020年には観光庁がGSTCをもとにした「日本版持続可能な観光ガイドライン」を定め、持続可能な観光の推進へと舵が切られています。

### 【与論町での持続可能な観光の取り組み】

そのような中、与論町ではヨロン島観光協会を推進主体として、GSTCを活用した持続可能

な観光地づくりに取り組みはじめています。

昨年3月には観光庁の日本版持続可能な観光ガイドラインモデル地区に選出され、7月には岩手県釜石市など全国8市町が連携する日本「持続可能な観光」地域協議会の設立にも参画。10月には、国際的な認証機関であるグリーン・デステイネーションズ(オランダ)が行う表彰制度である世界の持続可能な観光地「TOP100選」にも選ばれました。これは、GSTCの主要項目の評価に加え、サンゴのモニタリングや保全活動、海洋ごみ清掃などの海洋環境を守る活動に、地元住民や行政、学校、大学などが連携して取り組むとともに、観光客も参画していることが評価されました。

また、推進主体となるヨロン島観光協会では、今年度、持続可能な観光を推進するための「サステイナビリティ・コーディネーター」を新たに1名配置しました。加えて民間事業者や行政職員など多様なメンバーで構成するワーキングチームも結成。GSTCについて学ぶ公式トレーニングの開催、GSTCの基準にもとづく初期診断やモニタリングを行うとともに、今後10年間の観光振興計画の策定にも取り組んでいます。

### 【地域への展開】

一方で、持続可能な観光を推進するためには、行政や観光協会だけでなく、観光事業者での取り組みの展開も必要不可欠です。そこで、11月にプリシアリゾート、和歌山大学観光学部、ヨロン島観光協会と4者連携協定を締結しました。

今後は、観光事業者のモデルケースとして、和歌山大学の支援も受けながら、プリシアリゾートにおいてもGSTCガイドラインに基づいた取り組みを進めていく予定です。

GSTCを活用した持続可能な観光への取り組みは、わが国においてはまだ新しい分野です。

また、GSTCの評価項目は、環境や歴史・文化の保全、経済性、住民生活への影響や事業者の満足度、危機管理やマネジメントなど、多岐の分野に及び、観光事業者や地域住民のみならずの理解や協力も必要となる、まさしく「地域づくり」です。住民も観光客も満足できる「住んでよし」「訪れてよし」の「地域づくりのための観光」をめざした取り組みを進めていきたいと思えますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



4者連携協定調印式



GSTC 公式トレーニング

直ぐに

海上保安庁が

出動します

海の事件・事故は

118番

☆聴覚や発音に障がいを持つ方を対象にスマートフォン等を使用した入力操作により、海上保安庁への緊急通報が可能となる

**【NET118】**

を運用しています。

NET118番の登録は右のQRコードを読み込むか、[entry@net118.jp](mailto:entry@net118.jp)に空メールを送信すると、登録用メールが返ってくるので、案内に従い登録してください。



NET118 QRコード ☎0997-52-5811

問い合わせ先  
第十管区海上保安本部 総務課  
☎099-250-9800  
奄美海上保安部 管理課

# 戸籍の窓

令和3年9月

〜令和3年12月

※出生、死亡、婚姻とも掲載許諾を

頂いた方のみ掲載しています。

(敬称略)

いつまでもお幸せに

(氏名・地区)

◇ 12月届出分

境 正行  
佐藤 真奈美  
茶花  
東区



お誕生おめでとうございます

(氏名・保護者・集落)

◇ 9月届出分

白尾 優一朗  
西田 千実  
菅原 旭  
大志  
弘樹  
実  
茶花  
朝戸

◇ 10月届出分

林 采和  
池田 玲季  
町本 斗羽  
幹大  
拓也  
陽  
茶花  
那間

◇ 11月届出分

林 和空  
耕太郎  
古里

◇ 12月届出分

町本 大樹  
大地  
茶花

山下 晴  
野口 航太郎  
輝  
亮太  
那間  
立長



「冥福をお祈りします」

(氏名・享年・集落)

◇ 9月届出分

大馬 タケ  
富士 充朗  
山岡 秀行  
本 三七子  
松井 スミ  
益田 登代子  
吉田 マツ  
嶺岡 トモ子  
森 富森  
白石 初子  
栄 千代  
茶花  
朝戸  
古里  
東区

◇ 10月届出分

山下 金三  
84歳  
茶花

◇ 11月届出分

本 鐵男  
池田 佳代美  
里 直昭  
松井 エク  
出村 久子  
玄 シゲ子  
瀧澤 佐江子  
中山 和子  
沖 与史将  
池田 保子  
供利 ウト  
90歳  
96歳  
82歳  
99歳  
82歳  
88歳  
101歳  
77歳  
42歳  
67歳  
92歳  
古里  
叶  
東区  
東区  
立長  
東区  
城  
朝戸  
那間  
立長



「マチイロ」なら与論町がもっと身近に!

令和3年度以降発行の広報よろん・週報・議会だよりがスマートフォン・タブレットで確認いただけます。ダウンロードは右記 QR コードから!

Android

iOS



アプリの不具合や機能については運営会社(株)ジチタイワークス(福岡市)【092-716-1480】まで「マチイロ」は民間が運営するアプリです。アプリ上に表示される広告は本町とは一切関係ありません。



広報

よろん

2022年 VOL.321

編集・発行

与論町総務企画課

・〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花 1418-1  
 ・TEL: 0997-97-3111 FAX: 0997-97-4196  
 ・WEB: <https://www.yoron.jp> E-mail: [sy-kouhou@yoron.jp](mailto:sy-kouhou@yoron.jp)



茶花校区



与論校区



那間校区

祝  
新成人

令和四年一月二日(日) 砂美地来館において「令和四年成人式典」が開催されました。懐かしい仲間や恩師と再会し、会場には笑顔が溢れていました。新成人の皆様のご活躍とご多幸を祈念いたします。

写真提供:MEDEO 商会